

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第19週の発生動向

全数報告の感染症 (19週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：日本紅斑熱 1 例。
- 5 類感染症：後天性免疫不全症候群 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、百日咳 6 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	—
			80歳代	女	無症状病原体保有者	—
4類	日本紅斑熱	宮崎市	80歳代	女	—	発熱、発疹、DIC、肝機能異常
5類	後天性免疫不全症候群	都城	30歳代	男	無症状病原体保有者	—
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	40歳代	女	—	頭痛、発熱、嘔吐、意識障害、項部硬直、髄膜炎、菌血症
		宮崎市	20歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
	百日咳	都城	5~9歳	男	—	持続する咳
				男	—	持続する咳
			10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
40歳代				女	—	持続する咳

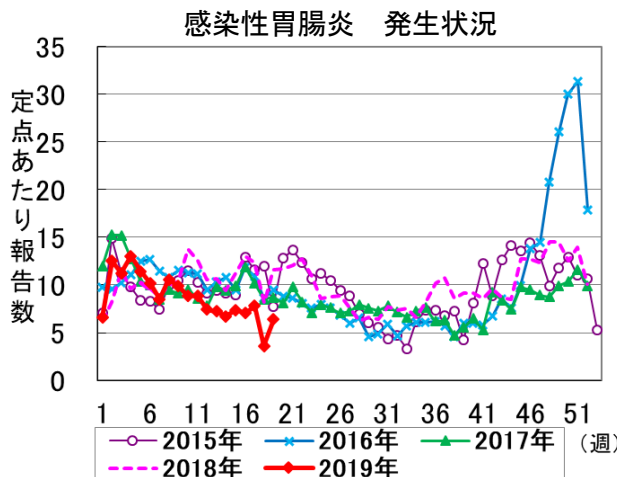
定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 571 人(定点当たり 17.0)で、前週比 127%と増加した(祝祭日の休診含む)。なお、前週に比べ増加した疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと咽頭結膜熱である。

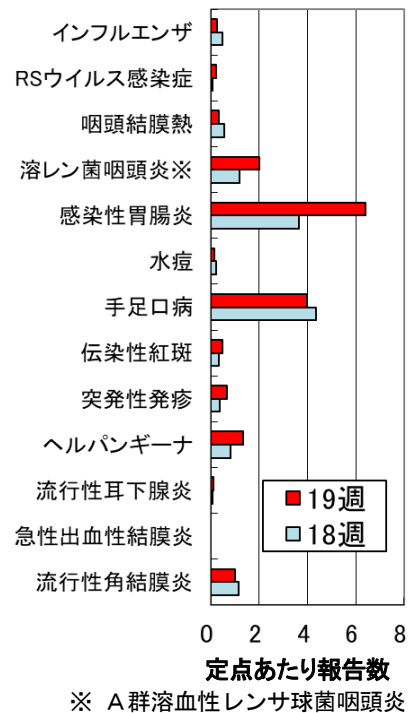
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

報告数は 224 人(6.4)で、前週比 176%と増加しており、例年同時期の定点あたり平均値*(10.4)の約 0.6 倍である。中央(14.0)、日南(13.0)、小林(11.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では 1 歳以下が全体の約 3 割を占めている。



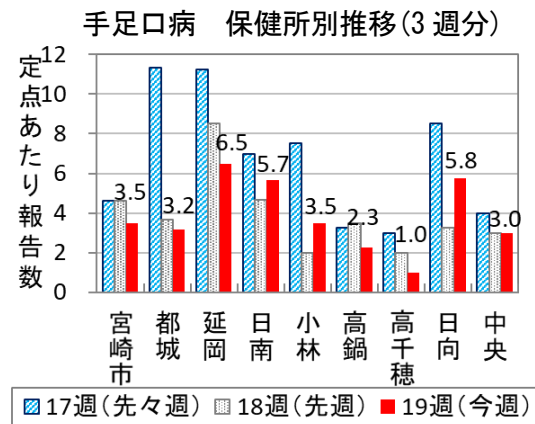
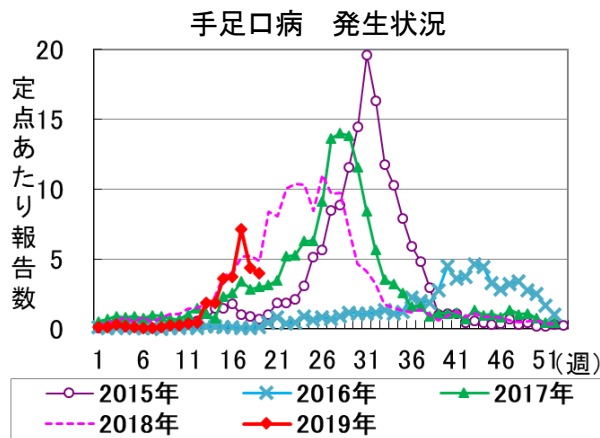
《前週との比較》



【手足口病】

報告数は140人(4.0)で、前週比92%と減少したが、例年同時期の定点あたり平均値*(2.4)の約1.7倍である。延岡(6.5)、日向(5.8)、日南(5.7)保健所からの報告が多く、年齢群別では2歳以下が全体の約9割を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★
報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	手足口病(6.5)
日南	手足口病(5.7)、伝染性紅斑(2.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	手足口病(5.8)
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・手足口病(5.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)

🇯🇵 全国 2019 年第 18 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 18 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	86 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	12 例	腸チフス	2 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E 型肝炎	3 例	A 型肝炎	5 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	デング熱	3 例	日本紅斑熱	2 例	レジオネラ症	21 例
5類感染症	アメーバ赤痢	2 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	11 例
	急性脳炎	8 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8 例
	後天性免疫不全症候群	5 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例	侵襲性肺炎球菌感染症	49 例
	水痘(入院例)	3 例	梅毒	13 例	破傷風	1 例
	百日咳	49 例	風しん	33 例	麻しん	11 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 35%と減少した(祝祭日の休診含む)。なお、前週と比較して増加した主な疾患はなく、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎である。

RSウイルス感染症の報告数は696人(0.24)で前週比43%と減少し、例年同時期の定点あたり平均値*(0.18)の約1.3倍である。和歌山県(0.93)、沖縄県(0.83)、福井県(0.65)からの報告が多く、年齢群別では1歳以下が全体の約8割を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2019年4月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は32人(2.5)で、前月比103%と横ばいであった。また、昨年4月(2.9)の84%である。

《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数19人(1.5)で、前月とほぼ同率、昨年4月の約0.8倍である。

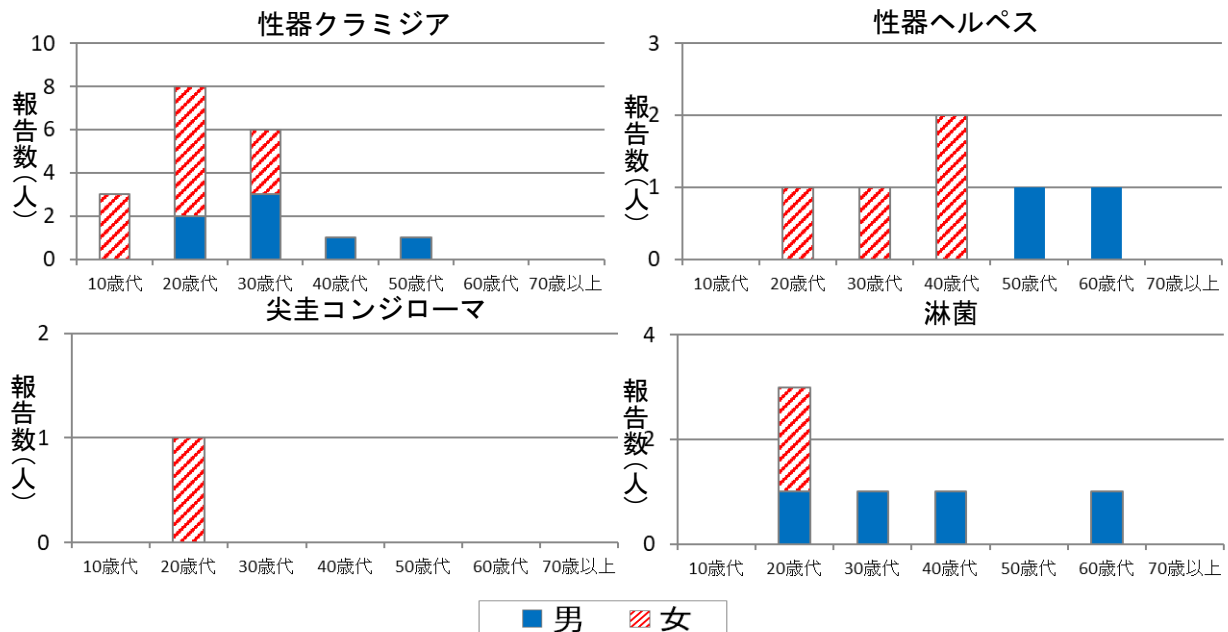
20歳代が全体の約4割を占めている。(男性7人・女性12人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数6人(0.46)で、前月の1.2倍、昨年4月の0.6倍である。

(男性2人・女性4人)

○尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月の0.5倍、昨年4月と同率である。(女性1人)

○淋菌感染症：報告数6人(0.46)で、前月の1.5倍、昨年4月の2.0倍である。(男性4人・女性2人)



【全国】 定点医療機関総数：977

定点医療機関からの報告総数は4,005人(4.1)で、前月比97%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,123人(2.2)で前月比96%、性器ヘルペスウイルス感染症738人(0.76)で前月比95%、尖圭コンジローマ464人(0.47)で前月比92%、淋菌感染症680人(0.70)で前月比105%である。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は16人(2.3)で、前月比146%と増加した。また、昨年4月(2.6)の89%である。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数15人(2.1)で、前月の約1.4倍、昨年4月の約1.1倍である。70歳以上が全体の約半数を占めている。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)で、昨年4月の約0.3倍である。

(前月報告なし)

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：478

定点医療機関からの報告総数は1,483人(3.1)で、前月比104%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,328人(2.8)で前月比103%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症145人(0.30)で前月比120%、薬剤耐性緑膿菌感染症10人(0.02)で前月比200%である。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2019年 第19週(05月06日～05月12日)

疾病名		第18週	第19週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	27	15	3	4	2	1			1		4
	定点当り	0.47	0.26	0.19	0.40	0.29	0.20	0.00	0.00	0.50	0.00	2.00
RSウイルス 感染症	報告数	3	8	3	2		2				1	
	定点当り	0.09	0.23	0.30	0.33	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	19	12	3	1	2	1		4			1
	定点当り	0.54	0.34	0.30	0.17	0.50	0.33	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	42	70	18	13	12	4	4	9		7	3
	定点当り	1.20	2.00	1.80	2.17	3.00	1.33	2.00	2.25	0.00	1.75	3.00
感染性胃腸炎	報告数	127	224	40	55	4	39	22	19	2	29	14
	定点当り	3.63	6.40	4.00	9.17	1.00	13.00	11.00	4.75	2.00	7.25	14.00
水痘	報告数	8	5		1	1	2		1			
	定点当り	0.23	0.14	0.00	0.17	0.25	0.67	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	152	140	35	19	26	17	7	9	1	23	3
	定点当り	4.34	4.00	3.50	3.17	6.50	5.67	3.50	2.25	1.00	5.75	3.00
伝染性紅斑	報告数	12	17	3	2	5	6		1			
	定点当り	0.34	0.49	0.30	0.33	1.25	2.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	13	23	4	5	5	2		2		3	2
	定点当り	0.37	0.66	0.40	0.83	1.25	0.67	0.00	0.50	0.00	0.75	2.00
ヘルパンギーナ	報告数	28	47	6	2	16	3	6	2		11	1
	定点当り	0.80	1.34	0.60	0.33	4.00	1.00	3.00	0.50	0.00	2.75	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	4		1	3						
	定点当り	0.09	0.11	0.00	0.17	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	6	4		2						
	定点当り	1.17	1.00	1.33	0.00	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～19週)

2類感染症	結核	62例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例		
4類感染症	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	3例
	つつが虫病	3例	日本紅斑熱	1例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	1例
	クリプトスポリジウム症	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7例
	侵襲性肺炎球菌感染症	8例(1)	梅毒	9例
	百日咳	103例(6)	麻しん	1例
			チクングニア熱	1例
			レジオネラ症	2例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例
			後天性免疫不全症候群	1例(1)
			破傷風	1例

()内は今週届出分、再掲